

2023年度

# 環境経営レポート

(2023年4月1日～2024年3月31日)



発行日：2024年7月1日



## 日本海建設電気株式会社

NihonKai Construction of architectural and Electrical work

〒010-0065 秋田県秋田市茨島三丁目1番6号  
TEL 018-863-0251 FAX 018-863-6353

# 1. 環境経営方針

## ＜基本理念＞

当社は、地域に根ざした建設業者として、環境に対する企業の社会的責任と重要性を認識し、地域をはじめとする地球環境の保全と維持に配慮すると共に、環境負荷の少ないコンストラクションを目指した事業活動を継続的に行うものとする。

## ＜活動指針＞

1. 当社の事業活動では、事業活動における環境負荷の軽減及び環境負荷の少ない施工方法を推進します。
2. 当社の事業活動に関係する環境関連の法令、規制、協定などの要求事項を遵守するとともに、排水や廃棄物の適正な管理及び緊急事態への対応訓練により汚染の防止に努める。
3. 当社の事業活動に伴い、環境に著しい影響を与える可能性のある項目について環境目的、環境目標を定めて管理し、定期的に見直すことにより、事業活動の継続的な改善に努める。
  - ①省資源
  - ②省エネルギー
  - ③産業廃棄物の削減
  - ④有害物質の削減
4. 環境経営方針を実行することの重要性及び当社の事業活動が環境に与える影響について、環境に関する教育を通じて、当社の従業員及び当社の工事現場内で作業を行うすべての要員に周知徹底を図ります。
5. 当社は、この環境方針を達成するために、エコアクション2.1に適合した環境マネジメントシステムを構築し、維持し、継続的に改善する。
6. この環境方針は、一般に公開致します。

2023年4月1日

日本海建設電気株式会社

取締役統括本部長 赤根谷 洋

## 2. 組織の概要

### 2-1. 事業所名及び代表者名

- ◆ 日本海建設電気株式会社
- ◆ 取締役統括本部長 赤根谷 洋

### 2-2. 事業の概要

- ◆ 土木工事・建築工事の設計、施工、監理および請負
- ◆ 電気工事、計装工事、通信工事、警報工事の設計、施工、監理および請負ならびに保守、点検

### 2-3. 所在地と連絡先（担当者）

- ◆ 住 所：〒010-0065 秋田県秋田市茨島三丁目1番6号  
(連絡先：TEL 018-863-0251 FAX 018-863-6353 Email：sales@nkce.jp)
- ◆ 担当者：環境管理責任者 佐藤 大樹

### 2-4. 事業の規模

- ◆ 創 業：1967年6月 ◆ 資本金：5千万円
- ◆ 売上高と従業員数：

事業年度	2020年 (2020.4~2021.3)	2021年 (2021.4~2022.3)	2022年 (2022.4~2023.3)	2023年 (2023.4~2024.3)
売上金額（百万円）	社外工事：1,210 社内工事： 237 合 計：1,447	社外工事：1,178 社内工事：1,262 合 計：2,440	社外工事：1,052 社内工事：1,057 合 計：2,110	社外工事：2,283 社内工事： 0 合 計：2,283
従業員数（人）	32	30	28	29

注）売上金額は、当社会計年度（当年4月～翌年3月まで）による。

## 3. 対象範囲と対象取組期間

### 3-1. 認証・登録範囲

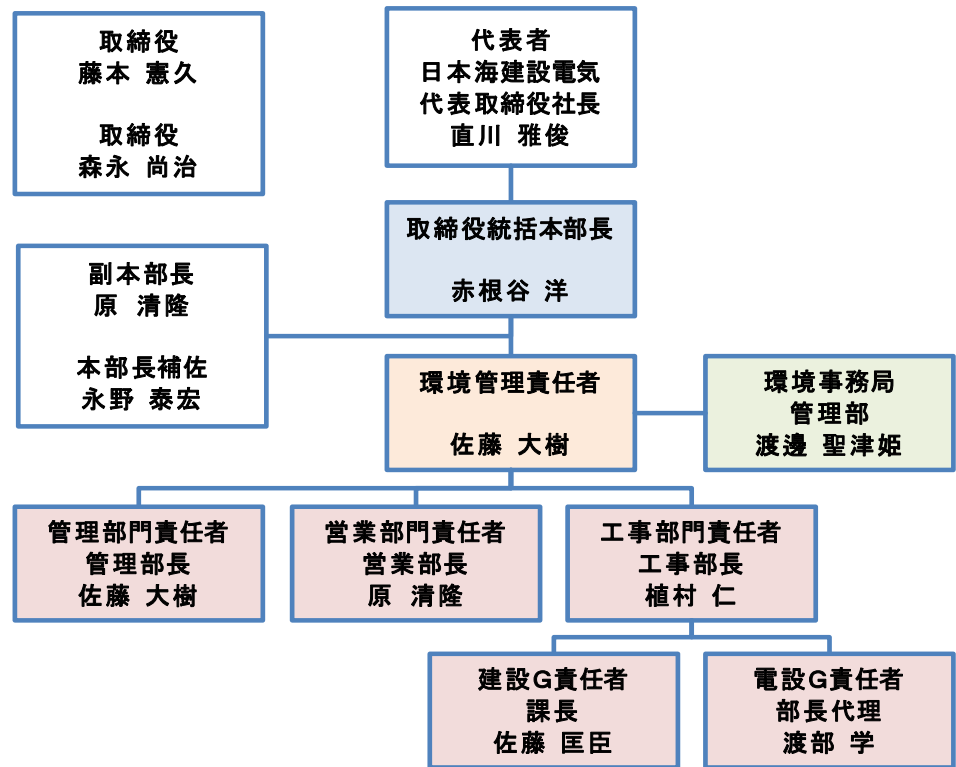
- ◆ 日本海建設電気株式会社（全組織・全活動）

### 3-2. 環境活動レポートの対象取組期間

- ◆ 2023年4月1日～2024年3月31日

※当社会計年度（4月～3月）に合わせ、毎年7月に発行していきます。

3-3. 実施体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者（代理） 取締役統括本部長 赤根谷 洋	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任。</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。</li> <li>環境管理責任者を任命。</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標・環境経営活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営活動レポートの承認。</li> <li>経営における課題とチャンス の明確化、及び全従業員へ周知。</li> </ul>
環境管理責任者 佐藤 大樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理。</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ票を承認。</li> <li>環境経営目標・環境経営活動計画書を確認。</li> <li>環境経営活動の取組結果を代表者へ報告。</li> <li>環境経営活動レポートの確認。</li> </ul>
環境事務局 渡邊 聖津姫	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局。</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。</li> <li>環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成。</li> <li>環境経営活動の実績集計。</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成。</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> <li>環境経営活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
部門長 佐藤 大樹 原 清隆 植村 仁	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施。</li> <li>自部門における環境経営方針の周知。</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施。</li> <li>自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告。</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理。</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練を実施、記録の作成。・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加。</li> </ul>

## 4. 環境経営目標

### 4-1. 環境経営目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、ならびに環境経営方針との整合性を図り、次の6項目について、環境経営目標を設定しました。

- 1) 二酸化炭素排出量削減
- 2) 廃棄物排出量削減
- 3) 総排水量削減
- 4) 化学物質使用量削減
- 5) 環境配慮型（省エネ・省力化）工事の受注

### 4-2. 環境負荷の実績及び環境経営目標（短期・中長期）の設定

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量、化学物質排出量、製品サービスに係る環境負荷の削減について、単年度目標ならびに中長期目標を下記のように設定しました。

（電力排出係数は2017年度、東北電力 0.523 kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用。）

	2020年度実績 基準年度 (2020.4~2021.3)	単年度目標 2023年度 (2023.4~2024.3)	中長期目標 2021~2023年度 (3年間)
◆二酸化炭素排出量	97,803 kg-CO <sub>2</sub>	基準年度より 0.5%削減	基準年度より 2%削減
1) 電力	50,556 kg-CO <sub>2</sub>	基準年度より 0.5%削減	基準年度より 2%削減
2) ガソリン・軽油	35,615 kg-CO <sub>2</sub>	基準年度より 0.5%削減	基準年度より 2%削減
3) 灯油・LPG	11,632 kg-CO <sub>2</sub>	基準年度より 0.5%削減	基準年度より 2%削減
◆廃棄物排出量			
1) 産業廃棄物	74%（再資源化率）	85%（再資源化率）	85%（再資源化率）
2) 一般廃棄物	1,842 kg	基準年度より 0.5%削減	基準年度より 1.5%削減
◆総排水量（水使用量）	1,347 m <sup>3</sup>	基準年度より 0.5%削減	基準年度より 1.5%削減
◆化学物質使用量	化学物質の特定	化学物質の特定	化学物質の特定
◆環境配慮型工事受注	12件	基準年度より 10%増加	基準年度より 40%増加

### 4-3. 2023年度（取組対象期間）環境経営目標値

4-2. の考え方に従って、2017年度実績値を基に、2020年度の具体的目標値（暫定）を下記のように算出しました。

	2020年度実績 (2020.4~2021.3)	2023年度目標 (2023.4~2024.3)
◆二酸化炭素排出量	97,803 kg-CO <sub>2</sub>	95,905 kg-CO <sub>2</sub>
1) 電力	50,556 kg-CO <sub>2</sub>	49,545 kg-CO <sub>2</sub>
2) ガソリン・軽油	35,615 kg-CO <sub>2</sub>	34,902 kg-CO <sub>2</sub>
3) 灯油・LPG	11,632 kg-CO <sub>2</sub>	11,458 kg-CO <sub>2</sub>
◆廃棄物排出量		
1) 産業廃棄物	82%（再資源化率）	85%（再資源化率）
2) 一般廃棄物	1,842 kg	1,814 kg
◆総排水量（水使用量）	1,347 m <sup>3</sup>	1,327 m <sup>3</sup>
◆化学物質使用量	化学物質の特定	化学物質の特定
◆環境配慮型工事受注	12件	17件

## 5. 主な環境経営活動計画

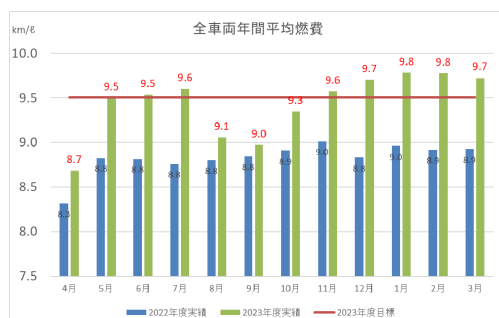
### 5-1. 二酸化炭素排出量の削減

#### 1) 電力使用量の削減

- ◆室内温度は、冷房時 28℃、暖房時 20℃の設定とする
- ◆昼休み等、不要な照明を消灯する
- ◆不要な OA 機器の電源 OFF、帰宅時に PC の電源 OFF
- ◆各種スイッチ付近に節電ポスター掲示により、意識徹底を図る

#### 2) ガソリン・軽油使用量の削減

- ◆ドライブレコーダーを運用し、運転操作の分析・結果を運転者へ通知し、エコドライブの徹底を図る



- ◆エコドライブ 10 のすすめを掲示により、意識の徹底を図る
- ◆排気ガス、騒音レベルを抑えるため、適正な車両管理を行う

#### 3) 灯油・LPG使用量の削減

- ◆暖房の温度設定 20℃の徹底

### 5-2. 廃棄物排出量の削減

- ◆分別を徹底し、リサイクルの推進
- ◆ manifests をもとに廃棄物の適正処理の徹底
- ◆廃棄物の中間処理場などを定期的に、直接、確認
- ◆会議時のプロジェクターの使用、両面印刷、縮小印刷
- ◆裏紙の使用
- ◆コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルの推進
- ◆テプラカートリッジの回収、リサイクルの推進

### 5-3. 排水量（水使用量）の削減

- ◆節水ポスター掲示により、意識の徹底を図る
- ◆蛇口の水漏れが無い確認

### 5-4. 化学物質使用量の削減

- ◆化学物質(塗料等)の適正使用(蓋の開けっぱなし厳禁)
- ◆化学物質(塗料等)の適正廃棄
- ◆化学物質(塗料等)の適正保管(施錠管理)

### 5-5. 環境配慮型工事の受注

- ◆施主の省エネ・省力化に寄与する提案及び工事の受注



## 6. 環境経営目標の実績（2023.4～2024.3）

対象取組期間における環境経営目標の達成状況は下記に示すとおりでした。

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス（増加）を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

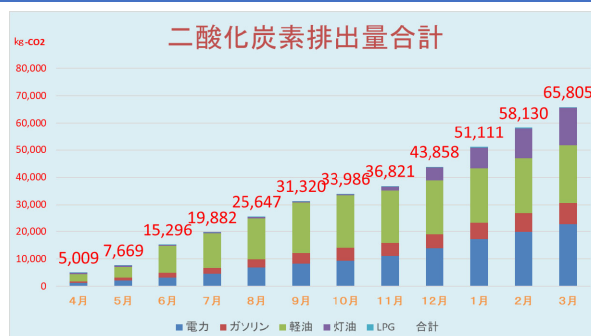
### 6-1. 二酸化炭素排出量

#### 1) 全体（目標：0.5%削減）

2020 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
97,803 kg-CO <sub>2</sub>	95,905 kg-CO <sub>2</sub>	65,805 kg-CO <sub>2</sub>	30,100 kg-CO <sub>2</sub>	31%	◎

#### 【コメント】

二酸化炭素排出量全体で、2023 年度目標に対し 31%の削減となり目標を達成しました。下記に排出要因別の達成状況を示します。

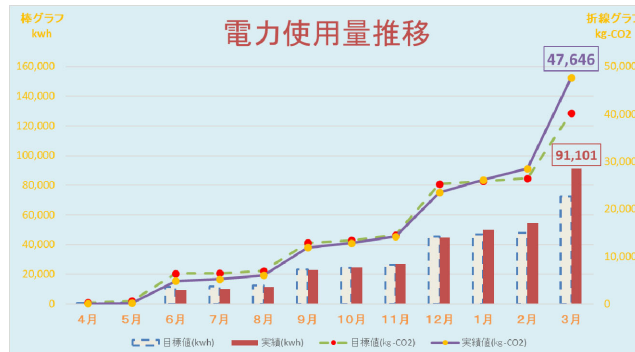


#### 2) 電力使用（目標：0.5%削減）

2020 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
50,556 kg-CO <sub>2</sub>	49,545 kg-CO <sub>2</sub>	22,937 kg-CO <sub>2</sub>	26,608 kg-CO <sub>2</sub>	53%	◎

#### 【コメント】

2023 年度目標に対し 53%の減少となり目標を達成しました。現場での発電機の使用により電力使用量が減少した結果となります。不要な箇所の消灯、エアコンのこまめな温度設定、ON/OFF 等、使用量削減に取り組んでおります。

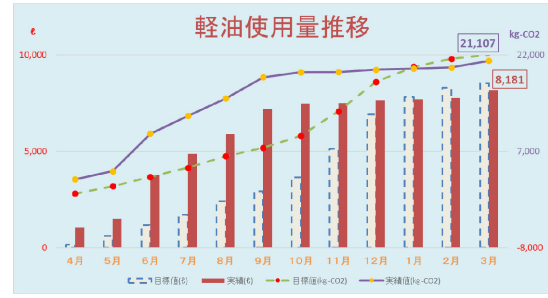
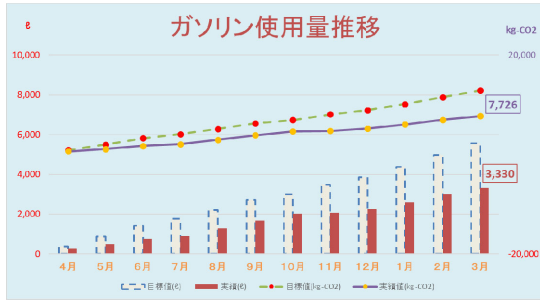


#### 3) ガソリン・軽油使用（目標：0.5%削減）

2020 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
35,615 kg-CO <sub>2</sub>	34,902 kg-CO <sub>2</sub>	28,833 kg-CO <sub>2</sub>	6,069 kg-CO <sub>2</sub>	17%	◎

#### 【コメント】

2023 年度目標に対し 17%の削減となり目標を達成しました。車輛についてはエコドライブの推進、建設機械については待機時のアイドリングストップ等を実施し、使用量の削減に取り組んでおります。

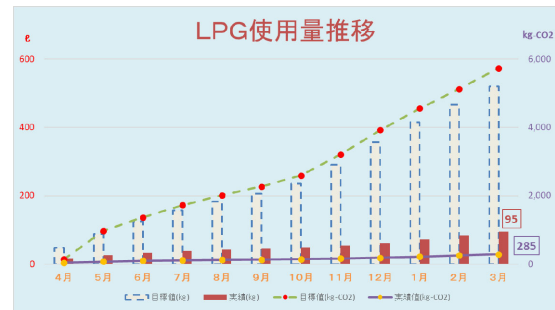
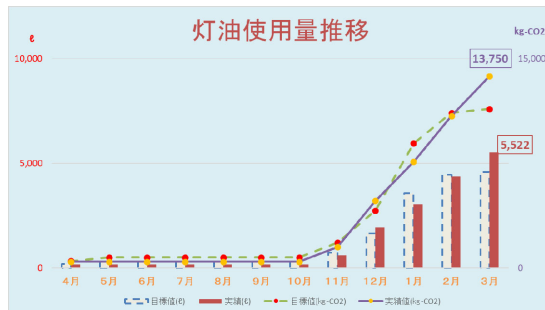


#### 4) 灯油・LPG使用 (目標: 0.5%削減)

2020 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
11,632 kg-CO <sub>2</sub>	11,458 kg-CO <sub>2</sub>	14,035 kg-CO <sub>2</sub>	▲2,577 kg-CO <sub>2</sub>	▲22%	×

#### 【コメント】

2023 年度目標に対し 22%の増加となり目標を達成することが出来ませんでした。LPGは減少しましたが、冬季稼働工事が増加したことにより灯油の使用量が大幅に増加しました。室内では無理のない程度に暖房 20℃を徹底し、使用量削減に取り組んでおります。



### 6-2. 廃棄物排出量

#### 1) 産業廃棄物 (目標: 再資源化率 85%)

取組期間における廃棄物の排出実績は下表のとおりで、産業廃棄物においては解体工事にて排出されるコンクリートくずが多くなっています。これらは建設副産物であり 100%リサイクルされます。

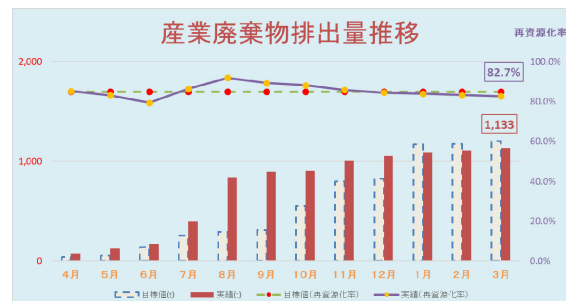
今回の集計では、再資源化率 82.7%と目標を達成できませんでした。今後は廃棄物の分別を推進し、再資源化率を向上させ、最終処分量の削減を向上させる取組を推進します。

2020 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
78%	85%	82%	—	▲3%	○

#### 【コメント】

2023 年度目標に対し 3%の減少となり目標を達成できませんでした。これは解体の減少に伴い、混合廃棄物が多く排出され、再資源化率が減少しました。

建設業では受注工事状況において大きく左右される傾向があります。



※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス（増加）を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

なお、廃棄物の排出種類と処分量については下記の通りです。

種類	再生量	最終処分量	排出量合計	再資源化率
アスコンがら	753.200 t	- t	753.200 t	100.0 %
ガラス・陶磁器くず	- t	18.380 t	18.380 t	0.0 %
木くず	12.040 t	11.310 t	23.350 t	51.6 %
コンクリートがら	168.770 t	- t	168.770 t	100.0 %
金属くず	2.965 t	15.420 t	18.385 t	16.1 %
混合廃棄物（管理型）	- t	57.560 t	57.560 t	0.0 %
紙くず	- t	6.000 t	6.000 t	0.0 %
廃プラスチック類	- t	16.320 t	16.320 t	0.0 %
廃蛍光管	0.001 t	- t	0.001 t	100.0 %
廃石膏ボード	- t	70.360 t	70.360 t	0.0 %
廃石綿等	- t	0.400 t	0.400 t	0.0 %
廃油	- t	0.290 t	0.290 t	0.0 %
合計	936.976 t	196.040 t	1,133.016 t	82.7 %

## 2) 一般廃棄物（目標：0.5%削減）

一般廃棄物においては古紙及び可燃ごみの排出が多くなっています。古紙については再生資源としてリサイクルされますが、可燃ごみについては焼却され、リサイクルされません。紙類の分別をより徹底し、引き続き再資源化率を向上させる取組を推進します。紙類節約の徹底や、ごみ分別方法のポスター掲示などの廃棄物削減に向けた取組を継続中です。

◆ビン・缶類・ペットボトル・古紙（再資源化）

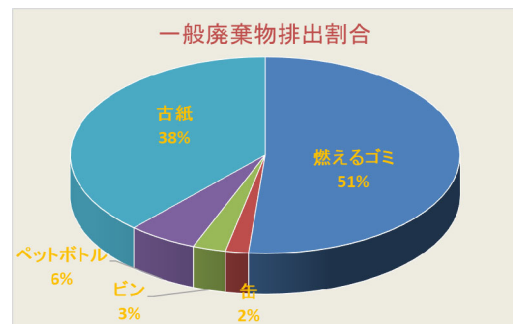
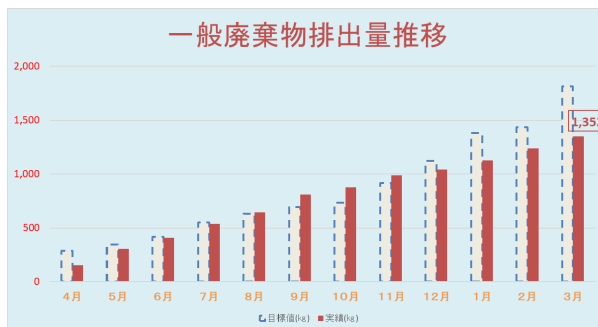
◆その他の可燃ごみ（焼却処理）

対象期間内における排出量の実績値は下記のとおりです。

2020 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
1,842 kg	1,814 kg	1,352 kg	462 kg	25%	◎

### 【コメント】

2023 年度目標に対し 25%の減少となり目標を達成しました。これは全体的に排出量を抑制できた結果です。



## 6-3. 総排水量・水使用量（目標：0.5%削減）

総排水量は、地下水は使用していないので、水道の使用量と等しくなります。2023 年度目標に対し 80%の減少となり目標を達成しました。現場での水使用が減少したことにより、使用量が減少しました。

2020 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
1,347 m <sup>3</sup>	1,327 m <sup>3</sup>	262 m <sup>3</sup>	1,065 m <sup>3</sup>	80%	◎

#### 6-4. 化学物質排出量（目標：適正使用と現状把握）

化学物質排出量については、塗料などに含まれる含有物質が少量多品目となり排出量の集計は困難なため、化学物質の特定と、化学物質含有資材の適正保管、適正使用、適正廃棄としております。

化学物質の種類（抜粋）
キシレン・トリメチルベンゼン・ストレートアスファルト他

#### 6-5. 環境配慮型（省エネ・省力化）工事の受注

今年度は処分場関連工事が主な受注となっており、その他公共施設のカーテンウォール工事の受注等により目標を達成しました。

引き続き、様々な角度の環境配慮型工事の受注を目指します。

	2020 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績
環境配慮型工事受注件数	12 件	17 件	27 件

## 7. 環境経営活動計画の取組結果の評価 ならびに次年度の取組内容

### 7-1. 環境活動計画の取組状況の評価

○…十分に取組んだ △…ある程度取組んだ ×…取組不十分（未実施） —…評価保留

取組項目		具体的活動計画	評価
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	◆室内温度は、冷房時 28℃、暖房時 20℃の設定とする	△
		◆昼休み等、不要な照明を消灯する	○
		◆不要な OA 機器の電源 OFF、帰宅時に PC の電源 OFF	○
		◆各種スイッチ付近に節電ポスター掲示により、意識の徹底を図る	○
	ガソリン・軽油使用量の削減	◆エコドライブの徹底	○
		◆エコドライブ 10 のすすめを掲示により、意識の徹底を図る	○
		◆排気ガス、騒音レベルを抑えるため、適正な車輛管理を行う	○
灯油使用量の削減	◆暖房の温度設定 20℃の徹底	△	
廃棄物排出量の削減	◆分別を徹底し、リサイクルの推進	○	
	◆マニフェストをもとに廃棄物の適正処理の徹底	○	
	◆廃棄物の中間処理場などを定期的に、直接、確認	○	
	◆会議時のプロジェクターの使用、両面印刷、縮小印刷	○	
	◆裏紙の使用	○	
	◆コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルの推進	○	
	◆テプラカートリッジの回収、リサイクルの推進	○	
排水量（水使用量）の削減	◆節水ポスター掲示により、意識の徹底を図る	○	
	◆蛇口の水漏れが無い確認	○	
化学物質使用量の削減	◆化学物質（塗料等）の適正使用（蓋の開けっぱなし厳禁）	○	
	◆化学物質（塗料等）の適正廃棄	○	
	◆化学物質（塗料等）の適正保管（施錠管理）	○	
環境配慮型工事の受注	◆環境配慮型（省エネ・省力化）工事の受注	○	

### 7-2. 次年度の取組内容（方向性）

2023 年度の結果を踏まえ、若干の目標未達項目がありますが、活動自体は安定しております。引き続き活動の継続と安定、更なる e c o 活動を推進し、引き続き現状の活動を継続いたします。

また 2023 年度の実績を踏まえ、次年度以降の取組項目、目標数値を設定いたします。

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

2024 年 3 月 31 日付において、環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが、違反状態は認められませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、過去 3 年間一度もありません。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 9-1. 環境経営システムの有効性の評価

環境マネジメントシステムの活動自体は安定してきておりますが、エコアクション 21 についての理解を広げる必要があると思われまます。

今後、環境管理責任者を中心として、全従業員で有効的な P D C A サイクルにより継続的な改善を図り、積極的な取組及び事業活動を通して、人と社会と地球のために貢献したいと考えています。

### 9-2. 環境経営システム変更の必要性

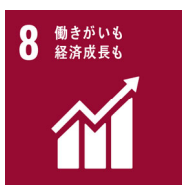
現段階で、環境方針、環境目標、環境活動計画等、システムの主要部分について、変更の必要はないと判断します。

ただし、2023 年度の実績を踏まえ、取組項目、目標数値を設定いたします。

### 9-3. 次年度以降の取組の方向性

2023 年度、目標を達成できなかった項目については、これまでの実績の要因とデータの分析を基に目標数値や比較方法の見直しを検討し、活動の見える化を推進し、エコアクション 21 の更なる活動へ取組まます。

経済成長と共に働きがい考える。



毎週水曜日はノー残業デー  
長時間労働の抑制  
障害者雇用  
女性が働きやすい環境  
e t c

環境に配慮したコンストラクションの実践。



エコアクション 21 を通じ環境影響に配慮する。  
CO2 排出の抑制  
産業廃棄物の適正処理と排出の抑制  
化学物質の適正使用  
e t c

この環境経営活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、弊社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。また、エコアクション 21 認証取得後は、エコアクション 21 中央事務局の HP (<http://www.ea21.jp/>) または当社 HP ([環境マネジメントシステム | 日本海建設電気株式会社 \(公式ホームページ\)](#)) でもご覧いただけます。

〒010-0065 秋田県秋田市茨島三丁目 1 番 6 号



# 日本海建設電気株式会社

NihonKai Construction of architectural and Electrical work

TEL 018-863-0251 FAX 018-863-6353

Email : sales@nkce.io